

三菱 店舗用 ロスナイ

真下グリル形

形名

SKU-25HC

SKU-35HC

SKU-50HC

SKU-65HC

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前にこの据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。 据付工事は販売店・工事店様が実施してください。

■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等によりご用意ください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付けが終わりましたらこの説明書ととも にお客様に必ずお渡しください。

# 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 次の表示で区分して説明しています。

誤った取扱いをしたときに 死亡や重傷などに結びつく 可能性があるもの 誤った取扱いをしたときに 軽傷または家屋・家財など の物的損害に結びつくもの 本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



禁止



風呂・シャワー室 での使用禁止



分解禁止



指示に従い 必ず行う



水ぬれ禁止

# **▲** | | | | | | | | |



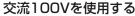
改造や必要以上の分解をしない

火災・感電・けがの原因になります



浴室など湿気の多い場所には、本体・コントロールスイッチとも据付けない

感電や漏電の原因になります



直流や交流200V使用すると火災や感電の原因になります



外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込 まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ

新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるお それがあります



本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う

落下によりけがをすることがあります

電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備の技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する

電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災のおそれがあります

電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る 通電状態では感電やけがをすることがあります

# 安全のために必ず守ること っづき

# ⚠警告



漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する

漏電した場合、火災のおそれがあります

端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する

接続に不備があると火災のおそれがあります



製品金属部(金属製ダクト)がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属 と電気的に接続しないように取付ける

接続されていると漏電した場合、火災の原因になります

# 

高温(40℃以上)や直接炎があたったり、油煙 の多い場所には据付けない

火災のおそれがあります



機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない

絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります

塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない

絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります



本体より室外側のダクトは室外に向かって下り こう配(1/30以上)になるように据付け、断熱 処理を確実に行う

雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷のおそれがあります

コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります

据付け後長期間使用しない場合は、必ず分電盤の ブレーカーを切る

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のも のを使用する

指定以外のものを使用すると、落下の原因になります

据付けの際は手袋を着用する

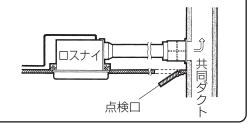
着用しないとけがの原因になります

#### 製品の運搬には十分注意して行う

20kg以上の製品は原則として二人以上で行ってください。PPバンドなどで所定の位置以外を持って製品を動かさないでください。素手で板金部品などに触れるとけがをする場合がありますので保護具をご使用ください

### 規制

- ●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材(別売)の煙逆流防止ダンパーおよびその点検口を必ず設けてください。
- ●ジャバラの使用については、地区によって異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。



### お願い

- ●天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- ●寒冷地あるいは風の強い地域では、運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動シャッターを設けることをおすすめします。
- ●寒冷地域では製品を運転しない場合でも室内外の圧力差により外気が製品内に侵入したり、天井裏温湿度条件によっては本体表面およびダクト接続部が結露・結氷するおそれがあります。 断熱材の重ね貼り追加の工事を実施してください。
- ●給排気ダクトの先端には、雨水などの浸入を防ぐためのフード(システム部材:別売)などを取付けることをおす すめします。
- ●給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- ●給気側、屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でご使用の場合には、別売の虫侵入 防止用部品(受注対応品)などを取付けることをおすすめします。

(室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります)

●次のようなダクト工事はしないでください。

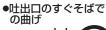
(風量低下や異常音発生の原因になります)



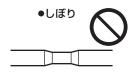
●極端な曲げ



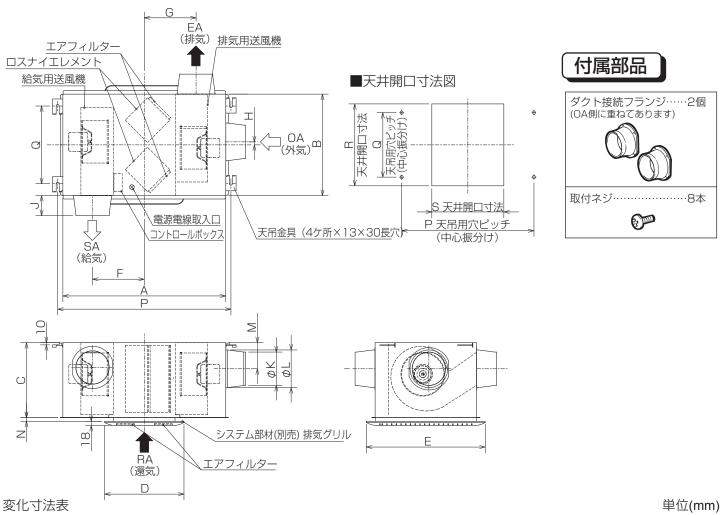
●多数の曲げ



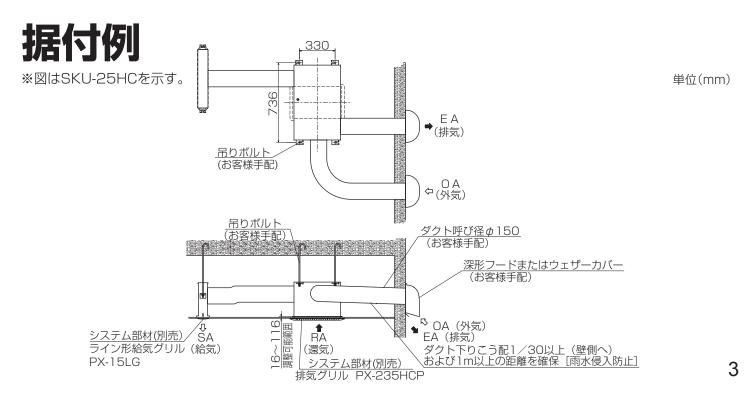




# 外形寸法図



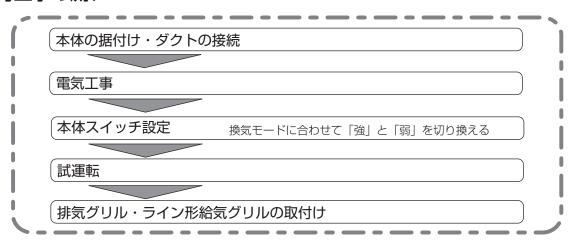
	形	彡 名	製品外形			グリル外形		パイプガイド					スライドチャンバー	天吊金具		天井開口		ダクト径	質量		
	712		Α	В	С	D	Е	F	G	Н	J	K	L	M	N	Р	Q	R	S	(Φ)	(kg)
S	KU-2		000	20	040	007	-0-	000	000	40	70	440	400	444	40 440	700	000	450	005	450	15.5 (本体のみ)
S	KU-3	5HC	690	430	318	337	505	220	220	13	70	142	160	111	16~116	736	330	453	295	150	16 (本体のみ)
S	KU-50	0HC	000	0 500	000	140	-0-	000		40	0.5	400	000			070	400	<b>5</b> 40	075	000	26 (本体のみ)
S	KU-6	5HC	826	520	390	419	595	262	262	19	85	192	208	142	9~116	872	420	543	375	200	26 (本体のみ)



# 据付方法

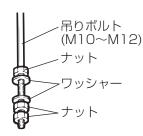
※図はSKU-25HCを示す。

### ■据付工事の流れ



# 本体の据付け



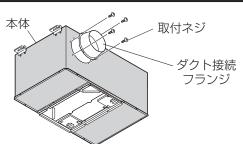


### ダブルナットの取付け

● あらかじめ埋込んである市販の吊りボルト(M10~M12)に左図のように市販のワッシャー(外径M10で21mm以上、M12で24mm以上)・ナットを取付ける。

2

ナット



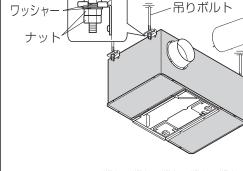
天吊金具

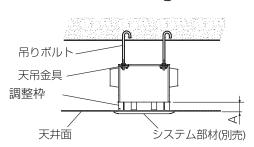
### ダクト接続フランジの取付け

● ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。(2個)(1個はOA側に取付けてあります)

### お願い

● ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。





### 本体の据付け

- 1.ダクト接続位置を確認して、天吊金具を吊りボルトに引っ掛ける。
- 2.本体が水平になるよう調節してゆるみ防止のため ダブルナットにて確実に締め付ける。

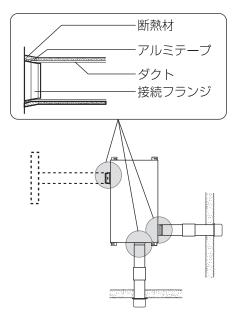
### お願い

ダクト

- ●調整枠は上下に可動します。天井面より本体下面までの 長さ(A)を左図に示す範囲になるように本体を固定してく ださい。
- ●室内(天井裏)の相対湿度40%以上の場合は、ダクト工事などに結露防止用として使用する断熱材を調整枠外周のスライド部分に貼り付け(現地施工)使用ください。

	里位(mm)
形名(タイプ)	А
SKU-25,35HC	16~116
SKU-50,60HC	9~116

# **一 ダクト接続**



- 1.ダクト配管をする。
  - ●壁の給・排気穴から本体までダクト配管をする。
- 2.ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
- 3.ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊る。
- 4.室外側ダクト2本(外気・排気ダクト)には、結露 防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

また、下記条件の場合は給気ダクトにも断熱処理を行ってください。

- ●外気温-5℃以下で使用する可能性がある場合
- ●冬期(外気温0℃以下)、室内温度が30℃以上、 または冬期(外気温0℃以下)、室内湿度が50% 以上となる可能性がある場合。

### お願い

● ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

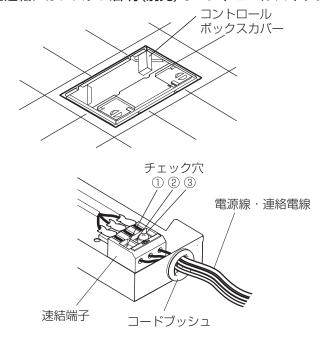
### 電気工事



### ●交流100Vを使用する

間違った電源を使用すると、火災や感電の原因になります。

- ●電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、 据付工事説明書に従って据付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する 電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因になります。
- ●端子台接続部は指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する 接続に不備があると火災の原因になります。
- ■運転にはシステム部材(別売)のコントロールスイッチ(PX-01KUS2)が必要です。



#### 1.配線をする。

- ■電源線・連絡電線には φ 1.6の単線(例VVF)を使用してく ださい。
- ●本体据付位置より2mの余裕をもって配線してください。
- 2.コントロールスイッチ(システム部材:別売)に 同梱の据付工事・取扱説明書に従ってコントロー ルスイッチを取付ける。

#### 3.本体の速結端子に結線する。

- (1)ネジ(1本)をはずしてコントロールボックスカバーをはずす。
- (2)電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線を電源コード取り入れ口から本体内へ引き込む。
- (3)電源線・連絡電線の先端をゲージに合わせて皮むきする。
- (4) コードブッシュを通して各線を速結端子に接続する。 (結線図参照)
- ●この際 "100V専用"と書かれた銘板をはがす。

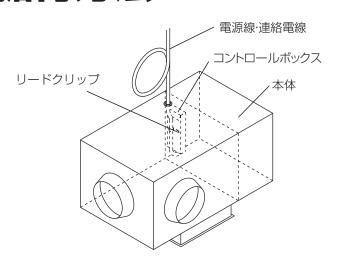
#### お願い

● コントロールボックスカバーを取付ける前に結線に間違いがないことをテスターで確認してください。

#### 確認方法

- 【1】コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にし、 風量切換スイッチを「弱」にする。
- 【2】チェック穴(左上図参照)の①-②、①-③にテスターを差し込み、ほぼOΩでないことを確認する。

# 据付方法 つづき

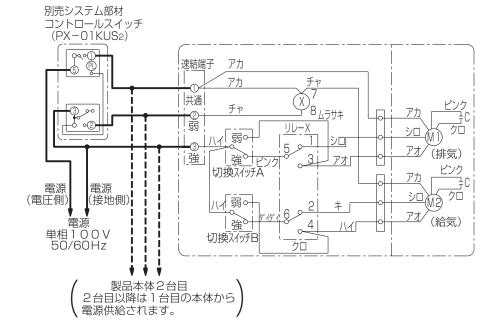


- (5)本体スイッチ設定を行う。(本体スイッチ設定参照)
- (6)結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認し、コン トロールボックスカバーを元通り取付ける。
- (7)結線に力が加わらないように、コントロールボックスカバー 外側のリードクリップで電源線を束ねる。この際に電源電線 が電源取入口まで500mm程度の余裕をもたせて束ねる。 (電源線に余裕がないとメンテナンスができなくなります)

**■結線図** ※太線および破線部分は有資格者である<u>電気工事士に</u>て施工してください。

### 漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

●ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は、100m以内としてください。 (誤動作するおそれがあります)

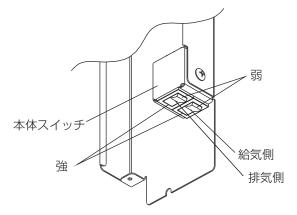


### ■複数台運転について

この製品は、コントロールスイッチ 1個で同時に下表の同一機種複数台 運転ができます。

形 名	台 数		
SKU-25HC	10		
SKU-35HC	8		
SKU-50HC	5		
SKU-65HC	3		

### 一 本体スイッチ設定



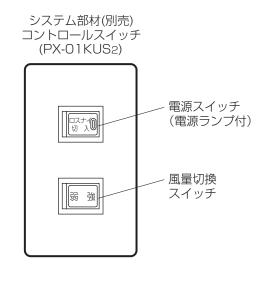
### コントロールボックス内の本体スイッチの設定を行う。

※工場出荷時は給気側、排気側ともに「強」に設定されています。

コントロール		 換気モード	給気	排気	本体スイッ	ッチ設定※					
スイッチ			風量	風量	(給気側)	(排気側)	K /13 /13 Æ				
	施	パワー給排気	強	強	強	強	●店内の混雑時 来店人数に応じた効率的な換気ができ、最適換気量を確保できます。				
74	工時に1	パワー給気	強	弱	強	翌	●店外からのちり、ほこりを防ぎたいとき 給気量が排気量に対し多いため店内を正圧に保 ち、ちり、ほこりの侵入を防ぎます。				
強	モード選択						●給気不足のとき 厨房と客席が隣接していて慢性的な給気不足を補 います。				
	抓	パワー排気	弱	強	羽	強	●臭いや煙を素早く排気したいとき 排気量が給気量に対し多いため店内を負圧に保 ち、臭いや煙を拡散せず効率的に排気できます。				
弱		省工ネ換気	弱	弱	本体スイッチに関係 なく給気、排気とも に「弱」になる		●店内が混み合っていないとき 給気量と排気量を「弱」にし、換気による口スを 最小限に抑え、省エネ換気を実現します。				

# 試運転

本体の据付工事終了後、結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

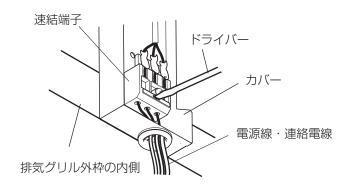


電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを 「強・弱」に切り換えたときロスナイの給気/排気の 風が強・弱に切り換わるか、また換気モードが正し く設定されているか確認する。

●本体スイッチ(給気側/排気側)をどちらでも「弱」 に設定すると風量は弱ノッチに固定されます。

# 据付方法 つづき

誤結線等により速結端子より電源線・連絡電線を抜く場合、以下の要領で抜くようにお願いします。



- (1)電線をリードクリップからはずす。
- (2)カバーを左図のように排気グリル外枠にあてる。
- (3)速結端子の白い部分をマイナスドライバーで押しながら電源線・連絡電線を引き抜く。
- ●この際、速結端子が滑らないように注意してくだ さい。

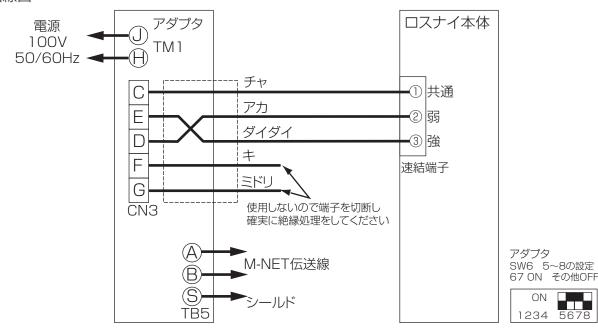
### 一 排気グリル、ライン形給気グリルの取付け。

システム部材(別売)排気グリルおよびライン形給気グリルに同梱の据付工事説明書に従って取り付ける。

### システム部材(別売) フリープランアダプタ【PZ-N53ADF】使用の場合

集中管理システム等でフリープランアダプタ使用の場合はフリープランアダプタの据付工事説明書に従って取付けてください。

### ■結線図



### 三菱電機株式会社